

Luncheon Linguistics, 1/17/2024

2024（令和6）年1月17日

「ポラ語フィールド調査報告―未記述の勐広方言を中心に―」

発表者：張元宗（東京外国語大学大学院博士後期課程）

本発表は去る2023年3月10日～3月20日と、同9月25日～11月26日の2回にわたって行われたポラ語（中国・雲南省徳宏タイ族ジンポー族自治州）を対象とするフィールド調査に関する報告である。ポラ語はシナ＝チベット語族＝ロロ＝ビルマ諸語＝ビルマ語群に属する少数言語であり、これまでは方言差が認められていなかったが、発表者が行った現地調査によって少なくとも允欠・勐広の2方言が存在し、一定の方言差が認められることが明らかになった。

本発表では、まず調査の日程と手段・調査方法、次にポラ語全体の特徴や、主に未記述の勐広方言を中心に方言ごとの特徴を、音韻・語彙・形態の面から紹介している。具体的には、音韻面では韻における方言差と声調交替、語彙面では借用語を含む語彙差、そして形態面では自他動詞の派生法と複数主語標識を例に挙げて説明を行った。説明には例語・例文のほか、コンサルタントによる語り1編を用いた。